



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称) 北区西天満1丁目 計画	
建設地	北区西天満1丁目	
建物用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
竣工年	2028年12月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上14階	
敷地面積	454.10 m ²	
建築面積	235.71 m ²	
延床面積	2890.02 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+

★★★★★☆☆☆☆

BEE = 1.0

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

100

50

0

3.0

1.5

0

BEE=1.0

0.5

0

S

A

B+

B-

C

47

44

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

建設

修繕・更新・解体

運用

オンサイト

オフサイト

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の
オンサイト手法

④上記+
オフサイト手法

100%

90%

90%

90%

0

50

100

(kg-CO_{2eq}/年・m²)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

Q1 室内環境

5

4

3

2

1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.8		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど、環境に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 各住戸にGbitクラスのプロードバンドを整備し、快適な通信環境を整えるよう努めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー LED照明など設備システムの効率化にも努め、省エネルギーに配慮した建物としている。	LR2 資源・マテリアル 各住戸に節水型便器を採用し、水資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.3
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.1
配慮事項		LED照明など高効率な設備を利用し省エネルギーに配慮している。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	等級4（相当）	-
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.76	-